

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-507647(P2005-507647A)

【公表日】平成17年3月24日(2005.3.24)

【年通号数】公開・登録公報2005-012

【出願番号】特願2003-514001(P2003-514001)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/09	(2006.01)
A 6 1 K	47/42	(2006.01)
A 6 1 K	47/46	(2006.01)
A 6 1 K	47/48	(2006.01)
A 6 1 K	48/00	(2006.01)
A 6 1 P	1/00	(2006.01)
A 6 1 P	1/02	(2006.01)
A 6 1 P	3/02	(2006.01)
A 6 1 P	5/00	(2006.01)
A 6 1 P	9/00	(2006.01)
A 6 1 P	9/10	(2006.01)
A 6 1 P	13/08	(2006.01)
A 6 1 P	13/10	(2006.01)
A 6 1 P	15/00	(2006.01)
A 6 1 P	17/00	(2006.01)
A 6 1 P	17/02	(2006.01)
A 6 1 P	17/06	(2006.01)
A 6 1 P	21/00	(2006.01)
A 6 1 P	27/02	(2006.01)
A 6 1 P	27/16	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	31/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/06	(2006.01)
A 6 1 P	39/02	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
C 0 7 K	14/47	(2006.01)
C 0 7 K	16/18	(2006.01)
C 0 7 K	19/00	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/00	Z N A A
A 6 1 K	47/42	
A 6 1 K	47/46	
A 6 1 K	47/48	
A 6 1 K	48/00	
A 6 1 P	1/00	
A 6 1 P	1/02	
A 6 1 P	3/02	
A 6 1 P	5/00	
A 6 1 P	9/00	

A 6 1 P 9/10
A 6 1 P 9/10 1 0 1
A 6 1 P 13/08
A 6 1 P 13/10
A 6 1 P 15/00
A 6 1 P 17/00
A 6 1 P 17/02
A 6 1 P 17/06
A 6 1 P 21/00
A 6 1 P 27/02
A 6 1 P 27/16
A 6 1 P 29/00
A 6 1 P 31/00
A 6 1 P 35/00
A 6 1 P 37/06
A 6 1 P 39/02
A 6 1 P 43/00
C 0 7 K 14/47
C 0 7 K 16/18
C 0 7 K 19/00
A 6 1 K 37/02

【手続補正書】

【提出日】平成17年7月19日(2005.7.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ペプチドであって、

(a) 配列番号10 (Pro - Gly - Phe - Phe - Lys - Leu - Phe - Ser - Cys - Pro - Ser - Leu - Leu - Ser - Ser - Trp - Asp - Tyr - Arg - Arg) のアミノ酸配列によって表されるペプチド；

(b) 配列番号11 (Pro - Glu - Leu - Lys - Gln - Ser - Thr - Cys - Leu - Ser - Leu - Pro - Lys - Cys - Trp - Asp - Tyr - Arg - Arg) のアミノ酸配列によって表されるペプチド；

(c) 配列番号12 (Pro - Pro - Gly - Leu - Lys - Arg - Phe - Ser - Cys - Leu - Ser - Leu - Pro - Ser - Ser - Trp - Asp - Tyr - Gly) のアミノ酸配列によって表されるペプチド；

(d) 配列番号13 (Phe - Ser - Cys - Leu - Ser - Leu - Pro - Ser - Ser - Trp - Asp - Tyr - Gly - His) のアミノ酸配列によって表されるペプチド；

(e) 配列番号14 (Ser - Thr - Cys - Leu - Ser - Leu - Pro - Lys - Cys - Trp - Asp - Tyr - Arg - Arg) のアミノ酸配列によって表されるペプチド；

(f) 配列番号15 (Phe - Ser - Cys - Pro - Ser - Leu - Leu - Ser - Ser - Trp - Asp - Tyr - Arg - Arg) のアミノ酸配列によって表されるペプチド；

(g) 配列番号 16 (Leu - Ser - Leu - Pro - Ser - Ser - Trp - Asp - Tyr - Gly) のアミノ酸配列によって表されるペプチド;

(h) 配列番号 17 (Leu - Ser - Leu - Pro - Lys - Cys - Trp - Asp - Tyr - Arg - Arg) のアミノ酸配列によって表されるペプチド;

(i) 配列番号 18 (Ser - Leu - Leu - Ser - Ser - Trp - Asp - Tyr - Arg - Arg) のアミノ酸配列によって表されるペプチド;

(j) 配列番号 19 (Leu - Pro - Ser - Ser - Trp - Asp - Tyr - Arg - Arg) のアミノ酸配列によって表されるペプチド;

(k) 配列番号 20 (Ser - Ser - Trp - Asp - Tyr - Arg - Arg) のアミノ酸配列によって表されるペプチド;

(l) 配列番号 21 (Ser - Ser - Trp - Asp - Tyr) のアミノ酸配列によって表されるペプチド;

(m) 配列番号 22 (Ser - Ser - Trp - Asp - Tyr - Arg - Arg - Phe - Ile - Leu - Phe - Phe - Leu) のアミノ酸配列によって表されるペプチド;

(n) 配列番号 23 (Trp - Asp - Tyr - Arg - Arg - Phe - Ile - Phe - Asn - Phe - Leu) のアミノ酸配列によって表されるペプチド;

(o) 配列番号 24 (Phe - Asn - Phe - Cys - Leu - Phe) のアミノ酸配列によって表されるペプチド;

(p) 配列番号 25 (Phe - Ile - Phe - Asn - Phe - Leu) のアミノ酸配列によって表されるペプチド;

(q) 配列番号 26 (Pro - Ala - Ser - Ala - Ser - Pro - Val - Ala - Gly - Ile - Thr - Gly - Met) のアミノ酸配列によって表されるペプチド;

(r) 配列番号 27 (Pro - Ala - Ser - Ala - Ser - Gln - Val - Ala - Gly - Thr - Lys - Asp - Met) のアミノ酸配列によって表されるペプチド;

(s) 配列番号 28 (Pro - Ala - Ser - Ala - Ser - Gln - Ser - Ala - Gly - Ile - Thr - Gly - Val) のアミノ酸配列によって表されるペプチド;

から成る群より選択される少なくとも一つのペプチドを含むペプチド。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の一つまたはそれを超えるペプチドおよびそのための担体を含む組成物。

【請求項 3】

請求項 1 に記載のペプチドのホモログ、誘導体、フラグメントまたは変異体を含むペプチド。

【請求項 4】

請求項 1 に記載のペプチドのアミノ酸配列に基づく逆 D 順序のアミノ酸を含むペプチド。

【請求項 5】

ペプチドの 3' 末端かまたは 5' 末端に隣接する 1 ~ 25 個の追加のアミノ酸によって修飾された請求項 1 に記載のペプチドを含むペプチド。

【請求項 6】

少なくとも二つの請求項 1 に記載のペプチドを含むペプチド。

【請求項 7】

請求項 1 に記載のペプチドの少なくとも二つの反復を含むペプチド。

【請求項 8】

請求項 1 に記載のペプチドの模擬体。

【請求項 9】

抗体、抗体のフラグメントまたは抗体様分子に融合した請求項 1 に記載のペプチドを含むペプチド。

【請求項 10】

請求項 1 に記載のペプチドおよびそのホモログ、フラグメントおよび変異体に対応するアミノ酸配列をコードしている核酸。

【請求項 11】

一つまたはそれを超える請求項 10 に記載の核酸およびそのための薬学的に許容しうる担体を含む組成物。

【請求項 12】

細胞の除去または破壊を必要とする患者の状態を処置するための医薬組成物であって、請求項 1 に記載のペプチドを含む、前記医薬組成物。

【請求項 13】

経口、皮下、皮内、鼻腔内、静脈内、筋肉内、脊髄内、鼻腔内、腫瘍内、局所および経皮から成る群より選択される方法により投与する、請求項 12 に記載の医薬組成物。

【請求項 14】

外科的切除、移植 (transplantation)、移植片移植 (grafting)、化学療法、免疫療法、ワクチン接種、熱または電気剥離、寒冷療法、レーザー療法、光線療法、遺伝子治療および放射線から成る処置の群より選択される処置で患者を処置する前に、際にまたは後に、患者に投与する、請求項 12 に記載の医薬組成物。

【請求項 15】

状態が、肺、乳房、胃、膵臓、前立腺、膀胱、骨、卵巣、皮膚、腎、洞、結腸、腸管、胃、直腸、食道、心臓、脾臓、唾液腺、血液、脳およびその被膜、脊髄およびその被膜、筋肉、結合組織、副腎、副甲状腺、甲状腺、子宮、精巣、下垂体、生殖器、肝、胆嚢、眼、耳、鼻、咽頭、扁桃、口、リンパ節およびリンパ組織から成る群より選択される組織の良性および悪性の腫瘍である請求項 12 に記載の医薬組成物。

【請求項 16】

状態が、肺、乳房、胃、膵臓、前立腺、膀胱、骨、卵巣、皮膚、腎、洞、結腸、腸管、胃、直腸、食道、心臓、脾臓、唾液腺、血液、脳およびその被膜、脊髄およびその被膜、筋肉、結合組織、副腎、副甲状腺、甲状腺、子宮、精巣、下垂体、生殖器、肝、胆嚢、眼、耳、鼻、咽頭、扁桃、口、リンパ節およびリンパ組織から成る群より選択される組織の過形成、肥大または過成長である請求項 12 に記載の医薬組成物。

【請求項 17】

状態が、肺、乳房、胃、膵臓、前立腺、膀胱、骨、卵巣、皮膚、腎、洞、結腸、腸管、胃、直腸、食道、心臓、脾臓、唾液腺、血液、脳およびその被膜、脊髄およびその被膜、筋肉、結合組織、副腎、副甲状腺、甲状腺、子宮、精巣、下垂体、生殖器、肝、胆嚢、眼、耳、鼻、咽頭、扁桃、口、リンパ節およびリンパ組織から成る群より選択される、ウイルス、細菌または寄生生物によって変化した組織である請求項 12 に記載の医薬組成物。

【請求項 18】

状態が、肺、乳房、胃、膵臓、前立腺、膀胱、骨、卵巣、皮膚、腎、洞、結腸、腸管、胃、直腸、食道、心臓、脾臓、唾液腺、血液、脳およびその被膜、脊髄およびその被膜、筋肉、結合組織、副腎、副甲状腺、甲状腺、子宮、精巣、下垂体、生殖器、肝、胆嚢、眼、耳、鼻、咽頭、扁桃、口、リンパ節およびリンパ組織から成る群より選択される組織の奇形である請求項 12 に記載の医薬組成物。

【請求項 19】

組織がリンパ組織である請求項 15 に記載の医薬組成物。

【請求項 20】

状態が扁桃肥大である請求項 12 に記載の医薬組成物。

【請求項 21】

状態が前立腺過形成である請求項 12 に記載の医薬組成物。

【請求項 22】

状態が乾癬である請求項 1 2 に記載の医薬組成物。

【請求項 2 3】

状態が湿疹である請求項 1 2 に記載の医薬組成物。

【請求項 2 4】

状態が皮膚病である請求項 1 2 に記載の医薬組成物。

【請求項 2 5】

状態が、組織への美容修正である請求項 1 2 に記載の医薬組成物。

【請求項 2 6】

組織が、皮膚、眼、耳、鼻、咽頭、口、筋肉、結合組織、毛および乳房である請求項 1 5 に記載の医薬組成物。

【請求項 2 7】

状態が血管疾患である請求項 1 2 に記載の医薬組成物。

【請求項 2 8】

状態が痔核である請求項 1 2 に記載の医薬組成物。

【請求項 2 9】

状態が拡張蛇行静脈である請求項 1 2 に記載の医薬組成物。

【請求項 3 0】

血管疾患が、アテローム性動脈硬化症または動脈硬化症である請求項 2 7 に記載の医薬組成物。

【請求項 3 1】

状態が、炎症性疾患、自己免疫疾患、代謝性疾患、遺伝性 / 遺伝学的疾患、外傷性疾患または身体的外傷、栄養欠乏性疾患、感染性疾患、アミロイド症、線維症、蓄積症、先天性奇形、酵素欠乏性疾患、被毒 (poisoning)、中毒 (intoxication)、環境性疾患、放射線疾患、内分泌性疾患、変性疾患および機械的疾患の内の一つである請求項 1 2 に記載の医薬組成物。

【請求項 3 2】

前記ペプチドが、膵臓系タンパク質のアミノ酸配列に由来している請求項 1 2 に記載の医薬組成物。

【請求項 3 3】

ペプチドが、抗体、抗体フラグメントおよび抗体様結合分子から成る群より選択される分子であって、腫瘍または他の標的への結合について、他の細胞への結合より高い親和性を有する分子に抱合されている、連結しているまたは結合している請求項 1 2 に記載の医薬組成物。

【請求項 3 4】

ペプチドが、抗体、抗体フラグメントおよび抗体様結合分子から成る群より選択される分子であって、腫瘍または他の標的への結合について、他の細胞への結合より高い親和性を有する分子とペプチドとから成る単一の新しいクローン化リコンビナント分子の一部である請求項 1 2 に記載の医薬組成物。